



# 県議会ふくしま

5月臨時会(5/4~5)及び6月定例会の概要(6/23~7/8開催)

第82号

[企画・編集]  
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

〈広告〉

# 34件の議案を可決

## 335億900万円の新型コロナウイルス感染症拡大防止等補正予算など

### 5月臨時会を開催



▲臨時会での議場採決の様子

5月臨時会が、GW中の5月4日、5日に開催されました。知事から、国が示した新型コロナウイルス感染症緊急経済対策、福島県における感染状況や県内経済への影響を踏まえ、緊急に措置すべき補正予算案など2議案が提出されました。審査結果について、委員長から報告された後、いずれも可決されました。

補正予算の主な内容	
総額335億9,000万円	
1 感染症の拡大防止と医療体制の整備	102億5,791万円
【主な内訳】	
・医療機関における患者の受入れ環境整備や感染防止対策	8億2,222万円
・入院病床や軽症者等受入れ施設の確保	39億9,277万円
・休業要請に伴う感染症拡大防止協力金の交付	30億2,378万円
2 雇用の維持と事業の継続	477億8,967万円
【主な内訳】	
・中小企業者への資金繰り支援の強化	459億371万円
・雇用調整助成金に係る事業者負担の更なる軽減	5億1,442万円
・前払利用券発行による飲食店支援	9億5,191万円



▲コロナ感染症拡大対策を講じて開催された本会議の様子



▲第一特別委員会室で本会議を視聴している様子

### 県議会の新型コロナウイルス感染症防止対策

6月定例会は、5月臨時会に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本会議、委員会のマスク着用や手指消毒の徹底に加え、演壇に飛沫感染防止のためアクリル衝立を設置し、一般質問の際は議員を二つのグループに分けて休憩時に入替える、一席ずつ空けて着席するなどの対策を講じて開催された。議場に出席しない議員は、第一特別委員会室で本会議中継を視聴して審議を見守った。

### 補正予算の主な内容

- 1 新型コロナウイルス感染症対策 **324億428万円**  
【主な内訳】  
・医療従事者等を支えるための慰労金や手当金の支給 103億441万円  
・感染拡大に備えた入院病床の確保 58億2,821万円  
・地域経済の活性化に向けて事業者を応援するスタンプラリーの展開 15億1,383万円  
・観光需要の回復に向けた宿泊割引への支援 6億6,903万円
- 2 令和元年東日本台風等により被災した河川や林地の復旧・改良 **5億6,635万円**

6月定例会では、知事提出議案として、国の補正予算を活用した新型コロナウイルス感染症の拡大防止や医療体制の整備、県内経済の力強い回復のための一般会計補正予算のほか、特別会計等補正予算1件、「福島県条例の一部を改正する条例」など条例に関する議案11件、「県の行う建設事業等に対する市町村の負担について」などその他の議案17件、議員提出議案として「当県の畜産農家が安心して事業経営を継続できる制度の確立を求める意見書」など国へ提出する意見書4件をそれぞれ可決・承認・同意しました。

### 定例会での主な質疑

#### 今後の県政運営

【質疑】新型コロナウイルス感染症により県全体が深刻な影響を受けている中、どのように県政を運営していくのか。  
【答弁】県民の命と生活を守るため、感染症の拡大防止、医療提供体制の整備、経済活動の回復などに向け、県の総力を挙げて危機的状況に対応してきた。逆境を力に変えながら、県民の皆さんとともにこの危機を乗り越え、「挑戦県ふくしま」の志のもと、復興と地方創生にしっかりと取り組んでいく。

#### トリチウムを含む処理水の取扱い

【質疑】トリチウムを含む処理水の取扱いについて様々な意見が出されている中、どのように取り組んでいくのか、知事の考えを尋ねる。  
【答弁】4月に開催された関係者の意見を伺う場で、処理水の取扱いによって本県の農林水産業や観光業に対し新たな風評を生じさせないよう取り組むこと、国及び東京電力において具体的な風評対策の提示とトリチウムに関する正確な情報発信に責任をもって取り組むことを求めた。今後とも、国及び東京電力に対し、幅広い関係者の意見を丁寧に向いながら、慎重に対応

#### 議員の期末手当の減額を実施

5月28日、代表者会議を開催し、令和2年6月に支給される議員の期末手当を20%減額することを、全会派一致で決定した。

#### 手話通訳導入を報告、開始

定例会に先立つ6月16日、障がい者に向けた議会広報の充実を図るため準備を進めてきた広報委員会は、インターネット議事中継への手話通訳開始について正副議長に報告した。  
6月23日の開会日から、インターネット議事中継及び録画に手話通訳者による手話通訳の映像が挿入された。

#### 復興・創生期間後の復興

【質疑】復興・創生期間後の復興について、どのように進めるのか。  
【答弁】複雑化、多様化する課題に確実に対応するため、切れ目なく安心感を持って具体的な取組を進めていくことが重要である。次期復興計画に復興・創生期間後の取組をしっかりと位置付け、福島が有する可能性や強みをいかした新たな魅力の創造を目指し、本県に思いを寄せてくださる方々と共に新たな価値を創る共創(きょうそう)を図っていく。

#### 新型コロナウイルス感染症対策

【質疑】新型コロナウイルス感染症対策にどのように取り組んでいくのか。  
【答弁】県民の皆さんに対し新しい生活様式の徹底を直接呼びかけるとともに、事業者の皆さんにはガイドラインに基づく感染防止策の徹底をお願いし、取組に支援を行っている。また、検査能力の強化や医療機関や関係団体と共働した発熱者等に対応する地域外来の設置など、迅速に患者を発見し、適切に医療につなげる取組を進めるとともに、必要な入院病床を確保し、



▲手話通訳開始報告

#### 6常任委員会が審査を実施

7月2日、3日の2日間、6常任委員会が、それぞれ所管する部局等に係る議案の審査等を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により密集にならないよう委員間の距離を確保した中で開催された。



▲福祉公安委員会の審査の様子

#### 3特別委員会を開催

7月6日、避難地域復興・創生等対策(青木検査委員長)、災害に強い県づくり(満山喜一委員長)、少子高齢化・人口減少対策(宮下雅志委員長)の3特別委員会が開催



▲災害に強い県づくり特別委員会の中間報告

#### 政務活動費検討会を開催

6月25日、政務活動費検討会(満山喜一会長)を開き、令和元年度政務活動費収支報告書等について確認した。

#### 可決した国への意見書(令和2年7月8日、国へ提出)

- 1 特定復興再生拠点区域外の避難指示解除について、地元自治体の意見と取組を最大限に尊重し、丁寧に協議を進めるとともに、避難指示解除のための具体的な方針を早急に示し、地元の実情を考慮した帰還困難区域の復興・再生を求める意見書
- 2 国際社会と連携し、北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決に全力で取り組み、全拉致被害者の即時一括帰国を実現することを求める意見書
- 3 一國に過度に依存しないサプライチェーンの見直しにより新たな供給網を確立させ、日本企業を国内に回帰させる取組の促進を求める意見書
- 4 当県の畜産農家が安心して事業経営を継続できる制度の確立を求める意見書

#### お知らせ

- ◆令和2年9月定例会は、9月18(金)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。  
TEL: (024) 521-7608 FAX: (024) 521-7965  
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」も是非ご覧ください。
- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。
- ◆詳しい情報は → [福島県議会](#)

